

塾人社 四択問題 【歴史 江戸時代 11】

設問 1	藩などが年貢米や特産物を貨幣にかえる場所として、大阪に多く置かれたものは何。	
選択肢	1	大倉庫
選択肢	2	蔵屋
選択肢	3	日本銀行
選択肢	4	蔵屋敷
正解		
解説		

設問 2	1の場所から出る商品を何と言う。	
選択肢	1	蔵物
選択肢	2	納屋物
選択肢	3	おつけ物
選択肢	4	年貢物
正解		
解説		

設問 3	近江(おうみ)商人・伊勢商人・富山の薬売りなどで有名な、地方を商売してまわる人々を何と言う。	
選択肢	1	宅配人
選択肢	2	地方商売販売人
選択肢	3	行商人
選択肢	4	小売商
正解		
解説		

設問 4	大阪の堂島の米市(こめいち)や、江戸の日本橋の魚市などを何と言う。	
選択肢	1	専門店街
選択肢	2	市場
選択肢	3	卸売市場
選択肢	4	金座
正解		
解説		

設問 5	幕府は貨幣の管理を厳しく行った。そこで金貨は金座で、銀貨は銀座でのみ作るように管理していたんだ。では、銅貨はどこで作らせたのか。	
選択肢	1	渋谷
選択肢	2	うお座
選択肢	3	銅座
選択肢	4	銭座
正解		
解説		

塾人社 四択問題 【歴史 江戸時代 11】

設問 1	藩などが年貢米や特産物を貨幣にかえる場所として、大阪に多く置かれたものは何。	
選択肢	1	大倉庫
選択肢	2	蔵屋
選択肢	3	日本銀行
選択肢	4	蔵屋敷
正解		4
解説	くらしきと読む。ここでは大名が領地から取れた年貢米や産物を売り、貨幣にかえていたんだ。だから大阪には全国の産物が集まることになったんだよ。	

設問 2	1の場所から出る商品を何と言う。	
選択肢	1	蔵物
選択肢	2	納屋物
選択肢	3	おつけ物
選択肢	4	年貢物
正解		1
解説	蔵屋敷から売買で出される年貢米や産物を蔵物(くらもの)と言うんだ。また、民間から出回った商品のことを納屋物(なやもの)と言うんだよ。	

設問 3	近江(おうみ)商人・伊勢商人・富山の薬売りなどで有名な、地方を商売してまわる人々を何と言う。	
選択肢	1	宅配人
選択肢	2	地方商売販売人
選択肢	3	行商人
選択肢	4	小売商
正解		3
解説	この時代には、商人の専門家が進み、問屋(とんや)・仲買(なかがい)・小売商(こうりしょう)という区別が出来上がった。この区分は現在でも使われているよね。そして地方へ商売してまわる行商人(ぎょうしょうにん)も生まれたんだよ。置き薬の商売は、今もそのままあるよ。	

設問 4	大阪の堂島の米市(こめいち)や、江戸の日本橋の魚市などを何と言う。	
選択肢	1	専門店街
選択肢	2	市場
選択肢	3	卸売市場
選択肢	4	金座
正解		3
解説	1つの商品を専門的にあつかう市場を卸売市場(おろしうりいちば)と言うんだ。また、商人が営業の独占を狙い作った同業組合を、株仲間という。これもよく出題されるよ。	

設問 5	幕府は貨幣の管理を厳しく行った。そこで金貨は金座で、銀貨は銀座でのみ作るように管理していたんだ。では、銅貨はどこで作らせたのか。	
選択肢	1	渋谷
選択肢	2	うお座
選択肢	3	銅座
選択肢	4	銭座
正解		4
解説	答えは4の銭座(ぜにざ)なんだよ。なお、これらの座の管理は勘定奉行(かんじょうぶぎょう)が行っていたんだ。	